

茨城県景気ウォッチャー調査結果（令和2年6月調査）

1 調査結果

～ 景気の状態判断・先行き判断とも前回調査から上昇 ～

☆ここがポイント

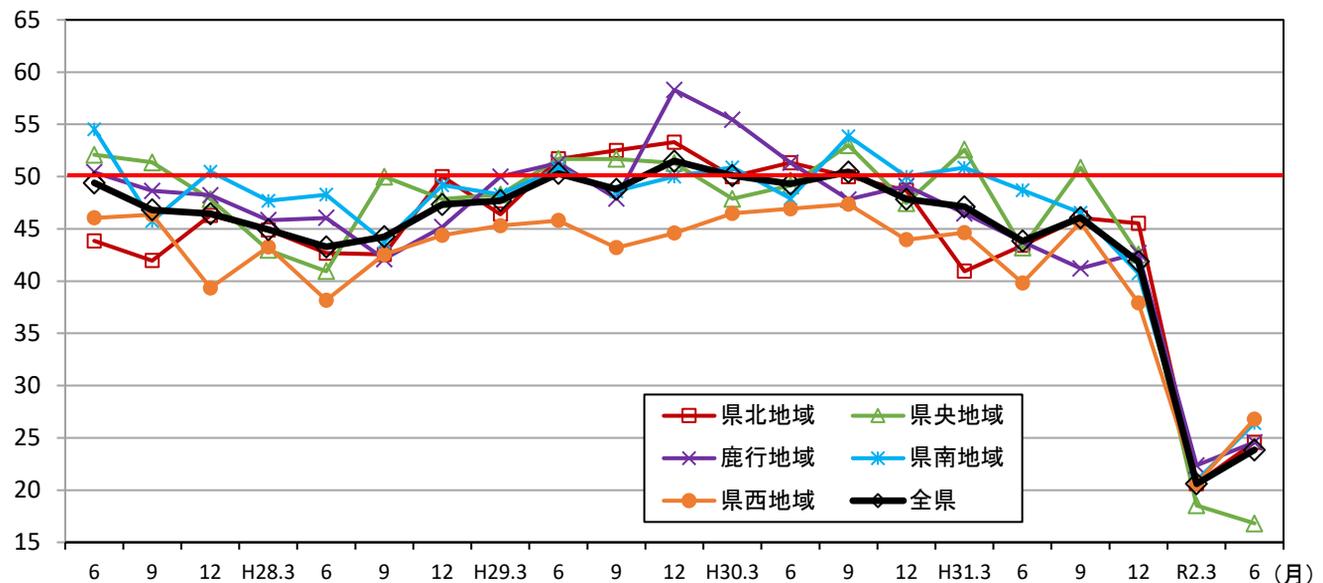
区分	景気現状判断DI		景気先行き判断DI		※DI(Diffusion Index) 景気動向を判断するために使用される指標の1つ。景気 directional (景気が上向きか下向きか) を見るもの。 本調査では、回答を5つの区分ごとに点数で表し、その点数を回答構成比(%)で乗じてDIを算出している。
	6月調査結果	前回調査との差	6月調査結果	前回調査との差	
県全体	23.8	+3.2	41.5	+17.9	<参考> DI値50超 : 上向き DI値50 : 横ばい DI値50未満 : 下向き
県北	24.6	+4.0	38.1	+14.4	
県央	16.8	-1.7	45.5	+20.9	
鹿行	24.6	+2.2	37.5	+17.3	
県南	26.4	+5.5	42.5	+19.3	
県西	26.8	+6.2	44.2	+17.9	

○県全体の景気現状判断DI、景気先行き判断DIとも7期連続で50を下回ったものの、前回調査から上昇した。

地域別では、県西地域の現状判断DIが25期連続で50を下回った。

○ウォッチャーからは、新型コロナウイルス、外出自粛、緊急事態宣言等に関するコメントが多く寄せられた。

(DI) 景気の状態判断DIの推移（地域別）



[調査の概要]

- ・ 調査客体数 … 県内5地域（県北、県央、鹿行、県南、県西）ごとに60名、計300名。
- ・ 調査内容 … 3か月前と比較した現状及び3か月後の先行きの景気判断（「良い」「やや良い」「変わらない」「やや悪い」「悪い」の5択）とその判断理由（コメント）の回答を集計。
- ・ 調査時期 … 四半期（6、9、12、3月）毎に実施し、翌月公表。（今回調査期間：令和2年6月5日から20日まで）
- ・ 回答率 … 93.7%（300名中281名から回答）

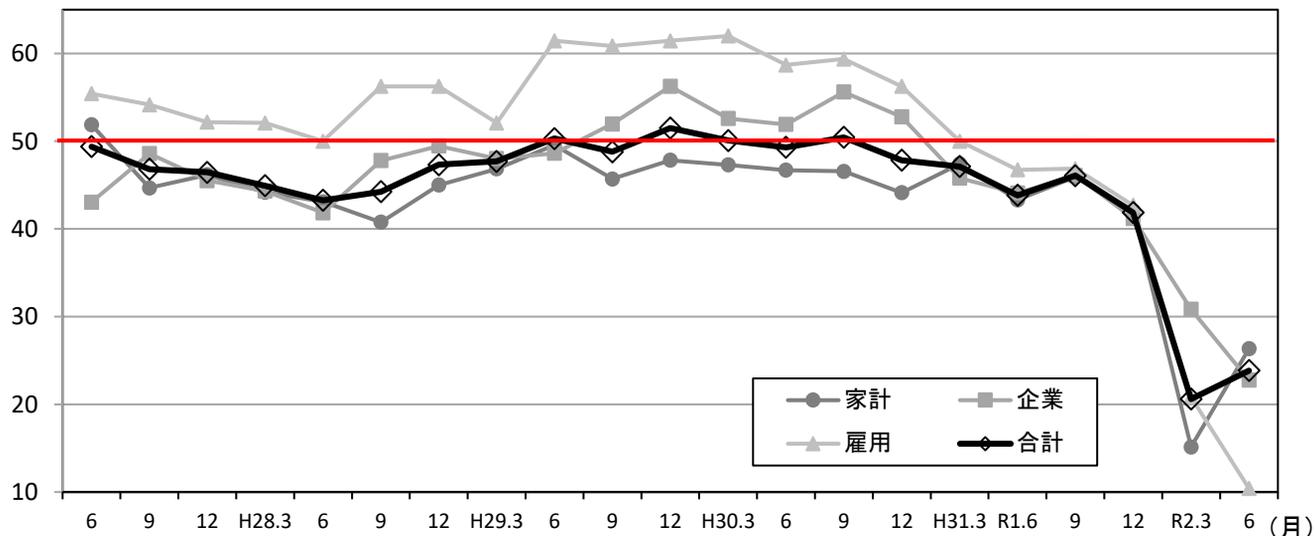
(地域区分) 県北地域: 日立市, 常陸太田市, 高萩市, 北茨城市, ひたちなか市, 常陸大宮市, 那珂市, 東海村, 大子町
 県央地域: 水戸市, 笠間市, 小美玉市, 茨城町, 大洗町, 城里町
 鹿行地域: 鹿嶋市, 潮来市, 神栖市, 行方市, 鉾田市
 県南地域: 土浦市, 石岡市, 龍ヶ崎市, 取手市, 牛久市, つくば市, 守谷市, 稲敷市, かすみがうら市, つくばみらい市, 美浦村, 阿見町, 河内町, 利根町
 県西地域: 古河市, 結城市, 下妻市, 常総市, 筑西市, 坂東市, 桜川市, 八千代町, 五霞町, 境町

2 県全体の動向

(1) 現状判断DI

景気の現状判断DIの推移

(DI)



分野	調査年月	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月
合計		43.8	46.1	41.9	20.6	23.8
家計動向関連		43.3	46.0	42.1	15.1	26.3
小売関連		41.5	44.3	36.5	20.5	35.2
飲食関連		44.8	40.9	39.3	16.7	17.5
サービス関連		44.7	49.0	47.3	9.0	19.7
住宅関連		40.6	43.8	46.9	25.0	39.3
企業動向関連		44.1	46.1	41.2	30.8	22.8
農林水産業		34.4	57.1	40.6	42.9	21.4
製造業		44.7	42.7	38.5	29.1	24.0
非製造業		45.6	48.6	45.0	30.9	21.3
雇用関連		46.7	46.9	42.7	20.8	10.4

景気の現状判断DIは、前回調査より3.2ポイント上昇したものの23.8となり、横ばいを表す50を7期連続で下回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より11.2ポイント上昇したものの、20期連続で50を下回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より8.0ポイント低下し、6期連続で50を下回りました。

雇用関連DIは、前回調査より10.4ポイント低下し、5期連続で50を下回りました。

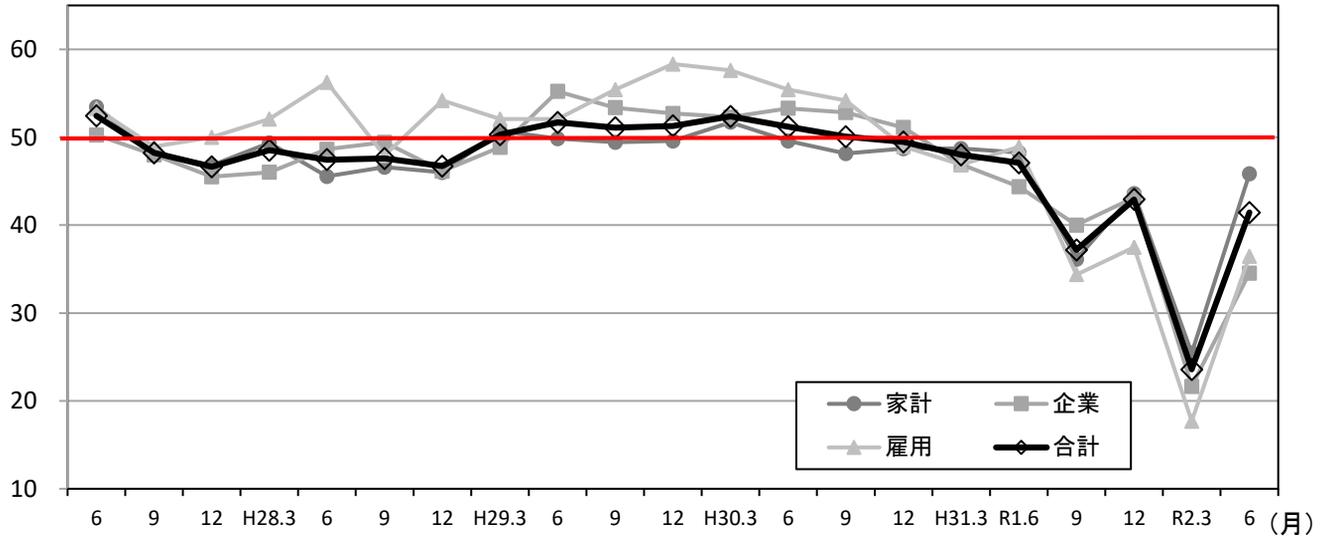
《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（県北：自動車販売店）緊急事態宣言が解除されたとは言え、外出に対する不安、これからの生活に対する不安が消費者の購買意欲を低迷させ、販売不振になっている。
- ・（県央：家電量販店）新型コロナウイルスの影響のため、在宅関連で需要がある。給付金もあり、今まで欲しかったものを購入。緊急事態宣言解除後、気温も上がり、購買意欲が多い。
- ・（鹿行：金融業）新型コロナウイルスによる営業自粛により、殆どの業種で売上高が減少している。特に観光業関連や飲食業（特に居酒屋や接客を伴う飲食店）の売上高減少率が高く、事業存続を真剣に検討される事業者も出てきている。
- ・（県南：製造業（窯業・土石製品））新型コロナウイルスの影響が少なく、出荷は順調に推移したが、受注は訪問自粛等の影響により若干減少している。
- ・（県西：求人広告）客の企業は様々な業種があるが軒並み悪化。景気が良いと話す企業はほとんどない。建築業など、あまり影響がない企業が少数あるだけとなった。雇用を守る事で精一杯の企業もあり、採用の話は少なくなった。

(2) 先行き判断DI

(DI)

景気の先行き判断DIの推移



分野	調査年月	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月
合計		47.1	37.2	42.9	23.6	41.5
家計動向関連		48.3	36.1	43.6	25.4	45.8
小売関連		46.9	29.5	42.3	20.8	43.6
飲食関連		46.9	35.2	45.2	40.5	57.5
サービス関連		49.0	42.5	43.6	26.3	45.7
住宅関連		56.3	31.3	50.0	15.6	35.7
企業動向関連		44.4	40.0	43.1	21.7	34.6
農林水産業		50.0	46.4	37.5	35.7	35.7
製造業		43.1	38.0	42.7	20.9	38.5
非製造業		44.9	41.4	45.0	19.9	28.7
雇用関連		48.9	34.4	37.5	17.7	36.5

景気の先行き判断DIは、前回調査より17.9ポイント上昇したものの41.5となり、横ばいを表す50を7期連続で下回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より20.4ポイント上昇したものの、9期連続で50を下回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より12.9ポイント上昇したものの、6期連続で50を下回りました。

雇用関連DIは、前回調査より18.8ポイント上昇したものの、7期連続で50を下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (県北：写真店) 各方面のイベントは縮小されたままだと思うので、しばらく景気の低迷期は続くように考える。
- ・ (鹿行：観光型ホテル) 緊急事態宣言が解除され、数か月先の予約は少しずつではあるが増加してきているため、現在よりは景気がやや良くなっていると思う。
- ・ (県央：工務店) 新型コロナウイルスの影響により官公庁からの発注の減少、民間の設備投資の減少が予想され、売上げが減少し、固定費が経営を圧迫する恐れがある。
- ・ (県西：製造業(電気機械器具)) 新型コロナウイルスの第2波、第3波が今後想定され、先行きが不透明で、この状態がしばらく続くと思われる。
- ・ (県南：公共職業安定所) 経済活動再開となり、新型コロナウイルスが感染拡大しなければ、現在より良くなると思料される。

3 地域別の動向（※調査結果はP.1参照）

（1）県北地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは24.6となりました。前回調査より4.0ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（コンビニエンスストア）客数の落ち込みが激しい。外食を中心に、客の間で厳しい情報を耳にする。
- ・（求人開拓員）新型コロナウイルスにおけるコロナ禍の中、若干来館者が減っていたが、6月に入って増加傾向にある。内職の求人等も、大手企業の仕事が止まっている影響もあり仕事がゼロで求人もない。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは38.1となりました。前回調査より14.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を6期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（旅行代理店）新型コロナウイルス第2波の懸念もあり、当分の間旅行業は厳しい。打つ手なしの状況。
- ・（製造業（精密機器））今までに減っているので、先行きも変わらないと思うが、戻り情報がないので不安。これ以上減ったらどうなるか分からない。製造業も全体的に大変になると思う。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（製造業（一般機械器具））新型コロナウイルスの対応に伴い、駅周辺の活気がなくなっており、飲食店においては厳しい状況が続いていると感じている。
- ・（求人開拓員）県内の新型コロナウイルス事情については、ステージ1になったとはいえ、大型小売店等にも以前のように人は戻っていないようである。早く平常に戻ってほしい。

（2）県央地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは16.8となりました。前回調査より1.7ポイント低下して、横ばいを表す50を3期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（タクシー運転手）新型コロナウイルス感染予防のため、タクシーを使う人が激減している。完全な終息を期待する。
- ・（製造業（金属製品））受注残によってなんとか稼働しているが、今期に入ってからの新規受注は約70%減となっており、非常に厳しい状況である。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは45.5となりました。前回調査より20.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を5期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（製造業（食料品））緊急事態宣言解除による学校給食の再開、外食系の回復が見込まれる。
- ・（求人開拓員）新型コロナウイルスの影響からの回復に事業の性質上時間のかかる業種や、二次的・三次的な波及効果による悪影響が表面化し、回復の効果が相殺され、全体では現状維持のレベルにとどまると考える。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（自動車販売店）当社の客は、新型コロナウイルスの影響をさほど受けていない客（富裕層）が多いようだ。また、新型コロナウイルスに関してもそこまで意識はしていないようである。周りで騒いでいるので、様子を見ている状態の客（法人関係）も多いようである。
- ・（公共職業安定所）新型コロナウイルスの影響が大きい。雇用調整助成金の申請は膨大な件数が提出されている。

(3) 鹿行地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは24.6となりました。前回調査より2.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (農業関係者) 新型コロナウイルスによる影響で外出自粛要請が出され、不要な外食や買い物を手控えることから農産物への影響が心配されたが、家での消費が増えて農産物の売上げについては品目によってばらつきがある。嗜好品的な農産物は苦戦している。
- ・ (人材派遣業) 新規受注が極端に減少している。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは37.5となりました。前回調査より17.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (農産物直売所) 客足が激変して増えるとは思にくい。新型コロナウイルスの影響は継続的に続いていくと思う。
- ・ (学校就業関係者) 今後、企業(業種等)によっては自粛等で活動が制限される恐れがあり、学生の進路に不安がある。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (小売業(菓子類)) 4月、5月よりは人出が多くなってきているように感じるので、少しずつ景気は上向くかもしれない。
- ・ (製造業(化学工業)) スーパーに買い物に行くと意外と混んでいる。学校が休校になったので、手軽に調理できるインスタント食品、冷凍食品を購入する人が多いと感じる。

(4) 県南地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは26.4となりました。前回調査より5.5ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を5期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (製造業(印刷・同関連業)) 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各種イベントや行事の中止により付随する印刷物の制作見合わせが多くあった。また、営業自粛を行っている飲食店、サービス業等の顧客からの発注が減っている。
- ・ (求人開拓員) 紹介期限経過後に更新される求人が減っている。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは42.5となりました。前回調査より19.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を4期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (ゴルフ場) 緊急事態宣言は解除されたが、経済の回復は遅く、ゴルフなどのレジャーに向かうには時間がかかると思われる。
- ・ (民間職業紹介業) 自動車関係をはじめ、製造業では消費低迷や政治的問題で輸出に影響がある。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (洋食食堂) ファミレスの閉店や、スナック、定食屋の高齢化による廃業が見られる。飲食業のお弁当持ち帰りの旗が立っているのが目に入る。
- ・ (製造業(非鉄金属)) 協力会社各社も資金繰りに窮しているが、各種対新型コロナウイルス政策を活用して耐え忍んでいる様子。

(5) 県西地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは26.8となりました。前回調査より6.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を25期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（製造業（電気機械器具））新型コロナウイルス感染防止対応による影響により作業量が減少。各職場から人員調整（減員）の相談が相次いでいる。
- ・（人材派遣業）採用を控える企業が多く、仕事の依頼が減少している。また、物量・生産量低下により休業対応や時間外労働の減少が多くみられる。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは44.2となりました。前回調査より17.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を6期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（スーパー）必要な商品のみを購入する傾向が強い。嗜好品や余計な物は買わない。支出を抑えている。この先どうなるか、不安要素が強い。
- ・（求人开拓員）新型コロナウイルスにより景気が減速した現状からは徐々に回復軌道に乗るのではないかとと思う。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（レストラン）ランチタイムの客は少しずつ戻ってきているが、夜の客がほとんど来ない。一般的に、店に関しては不要な外出は控えている状況が続くと思う。
- ・（製造業（金属製品））新型コロナウイルスに関連する影響は、県西地区でも大きく、特に自動車部品に特化している業者は厳しい。継続できるだろうか。

4 多く寄せられたキーワード

以下では、ウォッチャーから寄せられた回答の中で多く見られたキーワードや、前回から増加したキーワード等を含むコメントを掲載しています。

- ・「新型コロナウイルス」に関するコメント 386件（県北：81, 県央：81, 鹿行：83, 県南：68, 県西：73）

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（スーパー）新型コロナウイルス絡みから、仕事の休みが今も続いている人の話や預金を切り崩して生活をしている人の話を聞く。特に、アルバイトで働いていた人は契約の打ち切りが発生している。
- ・（人材派遣業）新型コロナウイルスにおけるコロナ禍の影響で売上げが減少している。

- ・「外出自粛」に関するコメント 70件（県北：9, 県央：16, 鹿行：15, 県南：17, 県西：13）

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（コンビニエンスストア）新型コロナウイルスによる自粛要請が解除され、人の動きが出始めた。
- ・（製造業（非鉄金属））新型コロナウイルスの影響で自粛が続き、自動車の販売が減って当社の製品が売れない。

- ・「緊急事態宣言」に関するコメント 46件（県北：15, 県央：6, 鹿行：10, 県南：11, 県西：4）

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（金融業）緊急事態宣言も解除され、徐々にではあるが人も動き出している。しかし、感染リスクがあるため、人との接触をなるべく避ける行動の定着が消費を抑制している面がある。また、イベントや学校の各種競技大会の中止、更には夏休みの短縮等、人・物・金の動きが活発となる要因は少なく、先行き景気は悪化したままで変わらないと思われる。
- ・（公共職業安定所）緊急事態宣言は解除されたが客足が戻らない、製造ライン等を減らして行っている等の声が続いているため、現在のような状況が続くと思われる。

(注) より詳しい情報については、当課ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>